

JP07064981 A
DOCUMENT PROCESSOR
FUJITSU LTD

Abstract:

PURPOSE: To provide a document processor capable of easily performing the printing on a fixed form by only specifying the changed part. **CONSTITUTION:** A document processing part 2 prepares and edits various types of documents. Each format document 6 defines the fixed form format by fixed format information 7 and defines keywords and the range of variable data area, default character strings, keywords, and the font and size of the same character in the item corresponding to respective variable data areas of correcting control information 8. On accepting the input from an input part, a correcting processing part 5 reads out the specified format document 6 from a document storage part 9, and replaces the contents of the variable data area with the input character strings by referring to the correcting control information 8 on each pair of keyboard and character string, and replaces the content of each variable data area which is not corrected, with the default character string to print them with a printing part 4.

Inventor(s):

GOTO KYOICHIRO
HORINOUCI TERUO
SEKI TAKEO
FUJIWARA MASAO

Application No. 05216061 JP05216061 JP, **Filed** 19930831, **A1 Published** 19950310

Original IPC(1-7): G06F01721

Patents Citing This One No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-64981

(43) 公開日 平成7年(1995)3月10日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/21		7315-5L	G 0 6 F 15/ 20	5 3 8 A
		7315-5L		5 6 6 G

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平5-216061

(22) 出願日 平成5年(1993)8月31日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72) 発明者 後藤 京一郎

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72) 発明者 堀之内 輝雄

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72) 発明者 関 建夫

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

最終頁に続く

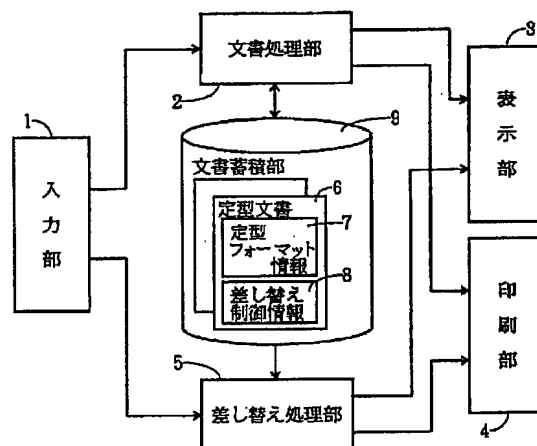
(54) 【発明の名称】 文書処理装置

(57) 【要約】

【目的】 名刺等の印刷処理に関し、定型用紙への印刷を変更部分のみ指定して行うことが容易にできるようにした文書処理装置を目的とする。

【構成】 文書処理部2が各種の文書を作成及び編集し、各定型文書6は、定型フォーマット情報7により定型フォーマットを定義し、差し替え制御情報8の各可変データ領域と対応する項に、キーワードと、該可変データ領域の範囲と、デフォルト文字列と、キーワードと同一の文字フォント及び文字サイズを定義し、差し替え処理部5は、入力部1から入力を受けて指定の定型文書6を文書蓄積部9から読み出し、差し替え指定として入力された該キーワードと文字列との各組について、差し替え制御情報8を参照して、該可変データ領域の内容を該入力文字列によって置き換え、該差し替え指定のない各該可変データ領域の内容を該デフォルト文字列によって置き換えて、印刷部4によって印刷させるように構成する。

本発明の構成を示すブロック図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力部(1)から指示と、文字及び図形のデータとを入力し、文書処理部(2)が該指示に従って、該入力文字及び図形を配置した各種の文書を作成及び編集し、表示部(3)に該編集集中の文書を表示し、印刷部(4)によって該文書の印刷を行い、文書蓄積部(9)に該文書を保存する文書処理装置であって、

差し替え処理部(5)を有し、

該差し替え処理部(5)は、所定の指示入力により差し替えモードが指定された場合に、該入力部(1)から入力される指定に従って、指定の定型文書(6)を該文書蓄積部(9)から読み出し、該定型文書の定型フォーマット情報(7)から定まる定型フォーマットを該表示部(3)に表示し、

該定型文書(6)には、該定型フォーマット情報(7)と差し替え制御情報(8)とを有し、

該定型フォーマット情報(7)により、該定型フォーマットについて、所要数の固定データ領域と、1以上の可変データ領域とを有し、各該固定データ領域に、それぞれ所定の文字及び図形を配置し、各該可変データ領域に、キーワードの文字列を、各該キーワードに指定されている文字フォント及び文字サイズによって配置することを定義し、

該差し替え制御情報(8)の各該可変データ領域と対応する各項に、当該可変データ領域に指定された該キーワードの文字列と、該可変データ領域の該定型フォーマット上の範囲を示す情報と、差し替え文字列の文字フォント及び文字サイズと、デフォルト文字列と、該キーワードと同一の文字フォント及び文字サイズとを設定し、

該差し替え処理部(5)は、差し替え指定として入力された該キーワードと文字列との各組について、該差し替え制御情報(8)の、各該当キーワードの項を参照し、当該項で定まる該可変データ領域の内容を該入力文字列によって置き換え、該差し替え指定に該当しない各該可変データ領域の内容を、該当する該デフォルト文字列によって置き換え、

該置き換える入力文字列及びデフォルト文字列を、それぞれ該当項に設定された該文字フォント及び文字サイズを有する文字列とし、

印刷が指示された場合に、該表示した該定型フォーマットについて該置き換えを行った結果を該印刷部(4)によって印刷させるように構成されていることを特徴とする文書処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は文書処理装置、特に名刺や葉書等の定型用紙へ印刷する文書を、定型フォーマットを指定し、可変データの差し替えを行って生成できる文書処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術と発明が解決しようとする課題】ワードプロセッサ等と呼ばれ、比較的容易且つ経済的に各種文書を作成、更新、印刷及び保管することができる文書処理装置が広く使用されている。

【0003】かかる文書処理装置の機能が向上し、比較的美麗な印刷も可能となるに従い、名刺の作成や、葉書の宛名印刷等の、定型用紙への印刷を比較的容易に行うことを意図した機能を持つ文書処理装置も多くなっている。

【0004】このような定型用紙への印刷機能では公知のように、例えば名刺であれば、名刺に通常記載する事項の項目、即ち社名、部門名、職名、資格名、氏名、住所、電話等の番号、社票のロゴ、その他について、それらの何種類かの組合せと、各組合せにおける何種類かの配置について、必要な種類の定型フォーマットが設けられる。

【0005】利用者は必要なフォーマットを指定し、そのフォーマットにある記載項目全部について内容を指定するデータを、別に定まる表形式等の入力形式により、一定の項目順に並べて入力すると、データを名刺の形式に配置した印刷が自動的に行われるようになっている。葉書の宛名印刷の場合も、以上の名刺の場合と同様である。

【0006】ここで、例えば企業の従業員の業務用の名刺を考えると、前記のような記載項目のうち、個人の氏名及びそれに関連するローマ字表記等の他の事項に関しては、同じ課の所属員の例を初めとして複数の異なる名刺で同一の内容になることは明らかである。

【0007】しかし、前記のようなデータ指定の操作様式であるので、氏名のみが異なる名刺を作るためにも、全項目を定まった順序で入力しなければならないので、不便な場合がある。

【0008】本発明は、定型用紙への印刷を変更部分のみ指定して行うことが容易にできるようにした文書処理装置を目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の構成を示すブロック図である。図は文書処理装置の構成であって、入力部1から指示と、文字及び図形のデータとを入力し、文書処理部2が該指示に従って、該入力文字及び図形を配置した各種の文書を作成及び編集し、表示部3に該編集集中の文書を表示し、印刷部4によって該文書の印刷を行い、文書蓄積部9に該文書を保存する文書処理装置であって、差し替え処理部5を有する。

【0010】差し替え処理部5は、所定の指示入力により差し替えモードが指定された場合に、入力部1から入力される指定に従って、指定の定型文書6を文書蓄積部9から読み出し、該定型文書6の定型フォーマット情報7から定まる定型フォーマットを表示部3に表示する。

【0011】各定型文書6には、定型フォーマット情報

7と差し替え制御情報8とを有し、定型フォーマット情報7により、該定型フォーマットについて、所要数の固定データ領域と、1以上の可変データ領域とを有し、各該固定データ領域に、それぞれ所定の文字及び図形を配置し、各該可変データ領域に、キーワードの文字列を、各該キーワードに指定されている文字フォント及び文字サイズによって配置することを定義する。

【0012】又、差し替え制御情報8の各該可変データ領域と対応する各項に、当該可変データ領域に指定された該キーワードの文字列と、該可変データ領域の該定型フォーマット上の範囲を示す情報と、差し替え文字列の文字フォント及び文字サイズと、デフォルト文字列と、該キーワードと同一の文字フォント及び文字サイズとを設定する。

【0013】差し替え処理部5は、差し替え指定として入力された該キーワードと文字列との各組について、差し替え制御情報8の、各該当キーワードの項を参照し、当該項で定まる該可変データ領域の内容を該入力文字列によって置き換え、該差し替え指定に該当しない各該可変データ領域の内容を、該当する該デフォルト文字列によって置き換える。

【0014】該置き換える入力文字列及びデフォルト文字列を、それぞれ該当項に設定された該文字フォント及び文字サイズを有する文字列とし、印刷が指示された場合に、該表示した該定型フォーマットについて該置き換えを行った結果を該印刷部4によって印刷させる。

【0015】

【作用】本発明の文書処理装置により、各定型文書には、キーワードで指定される可変データ領域に必要なデフォルト文字列が設定されており、変更を要する可変データ領域のみをキーワードで指定して差し替える文字列を入力すれば、その他の可変データ領域はそれぞれのデフォルト文字列が指定されたものとして処理し、容易に定型文書の一部を変更する編集が行われて、結果を印刷できる。

【0016】又、その場合に定型フォーマットの表示上で、各キーワードの表示が差し替え結果の文字列の文字フォント及び文字サイズによって行われるので、その表示から各可変データ領域の差し替え結果を予想し易く、定型文書の印刷指示操作を効率良く処理できる。

【0017】

【実施例】本発明の定型文書は、一定の書式で表された定型フォーマット情報と差し替え制御情報とからなる。

【0018】以下に名刺印刷を目的とする場合を例として説明すると、定型フォーマット情報は、例えば所要の名刺用紙の大きさと、使用する最小の文字サイズ等から、行数及び1行の桁数を定めて、名刺サイズの1頁を印刷できる一般文書と同様の情報で構成する。

【0019】この文書において、固定データ領域については、各位置に文字データ、社票ロゴ等の図形のイメー

ジデータ等を、必要な大きさ及び文字フォントを指定して固定データとして記載する。

【0020】又、可変データ領域については、各領域をユニークに識別できるキーワードを定めて、例えばキーワードを領域の先頭から記載する。その際キーワードの文字の文字フォント及び文字サイズを、その可変データ領域に設定すべき差し替え文字列に与える文字フォント及び文字サイズと同一にする。

【0021】図3(a)は、以上のような構成で設定された定型フォーマット情報に従って表示される定型フォーマットの例である。この例で破線の長方形枠で示す各領域は、次に述べる差し替え制御情報に設定されている各可変データ領域に対応し、従ってその中に置かれている文字列がキーワードである。又、可変データ領域の文字及び図形は固定データ領域に記載された固定データである。

【0022】前記のように、表示されているキーワードの文字フォント及び文字サイズは、後で各可変データ領域に差し替えられる文字列の文字フォント及び文字サイズを表しているが、更にこの例のようにして、各可変データ領域の範囲及びキーワードを、その他の固定データから区別し易いようにすることが望ましい。

【0023】差し替え制御情報は、定型フォーマットの各可変データ領域ごとに項を設けて、キーワードと、領域の範囲と、差し替え文字列の文字フォント及び文字サイズと、デフォルト文字列とを、例えば表形式で示すようにする。

【0024】ここで、差し替え文字列の文字フォント及び文字サイズは、キーワードに指定した文字フォント及び文字サイズと同一の値に設定する。領域は例えば長方形とし、その範囲は例えば長方形の左上及び右下位置を、定型フォーマットの前記文書における行及び桁位置で表す座標で表すものとする。又、デフォルト文字列は初期値を、例えば空白の列としておく。図2は図3(a)の定型フォーマットに対応する差し替え制御情報の一例である。

【0025】以上の情報からなる定型文書は、図1の文書処理部2による文書一般の処理機能により作成することができるが、専用処理機能を設けて、更に容易に定型文書の作成及び更新ができるようにしてもよい。

【0026】作成した定型文書は、通常文書と同様に文書蓄積部9に保存する。文書蓄積部9は例えばフロッピー磁気ディスク又は固定磁気ディスクを記憶媒体とする記憶装置で構成される。

【0027】以上のような定型文書は、例えば一企業の業務用の名刺を作成することを想定した場合に、前記の図3(a)のような定型フォーマットを持つ定型文書を原型として作って各地域の事業所等に配布すれば、各事業所等では要すれば固定データ領域の住所等を変更する更新を行って別の定型文書を作成することにより、事業所

等ごとの名刺用の定型文書を容易に作成できる。

【0028】又各事業所内では、事業所用の定型文書について、部課等ごとに必要であれば可変データ領域のデフォルト文字列を変更して別の定型文書とし、更に後述のように、デフォルト文字列と異なる文字列印刷の必要な可変データ領域について、印刷時に差し替え文字列を指定することができる。

【0029】入力部1は例えばキーボードの押下を検出してキー信号を発生し、常時はキー信号を文書処理部2に転送しているが、所定のキーの押下により、差し替えモードの指定を識別した後は、差し替え処理部5から終了の通知を受けるまで、入力キー信号を差し替え処理部5へ転送する。

【0030】図4及び図5は差し替え処理部5の処理の流れの一例を示す図であり、先ず処理ステップ10で文書のリストを表示部3に表示し、処理ステップ11で表示リストからカーソル操作等の方法で一文書を選択する指定を受け取る。

【0031】この文書のリストは文書蓄積部9に設定されている記憶媒体の制御情報から、その媒体に蓄積されている文書のリストを通常の方法で読み出すことができる。又、表示部3は例えばブラウン管の表示画面を有する表示装置からなる。

【0032】処理ステップ11で、指定の文書を文書蓄積部9から読み出し、処理ステップ12で文書が定型文書か識別して、定型文書でなければ処理ステップ10に戻る。定型文書を読み出した場合には、処理ステップ13でその文書の定型フォーマット情報により、図3(a)に例示したような定型フォーマットの画面を生成し、表示部3に表示する。

【0033】又、処理ステップ14で、差し替え制御情報を参照し、定型フォーマットの各可変データ領域をデフォルト文字列で差し替えた画面を生成し、表示部3に上記の定型フォーマットの表示と並べて表示する。

【0034】図3(b)は、この差し替え画面の例であり、図2及び図3(a)で定義された内容に対応する。なお、デフォルト文字列が定義されていない可変データ領域については、図示のように(a)のキーワードの表示をそのまま残しても、或いは空白にする等でもよい。

【0035】又、表示画面が小さく、2個の定型フォーマットの全像を並べて表示することが適当で無い場合等には、例えば「キーワード=デフォルト文字列」のような文字列の表示で、差し替え画面に代える等でもよい。

【0036】操作者は以上の表示画面を見て、名刺印刷の指示をするので、差し替え処理部5は処理ステップ15で入力部1からの指示入力を受け取る。処理ステップ16で入力を識別し、差し替え制御情報に定義するキーワードの文字列が先頭に入力された場合には、次に処理ステップ17で後続入力の文字列を差し替え文字列として取り出す。

【0037】即ち、この場合の差し替え指示の一連の入力は例えば「キーワード=文字列」のような形式で入力する規約とし、「=」の前までをキーワード、「=」の後を差し替え文字列の指定として、以上の処理を行う。

【0038】次に処理ステップ18で、差し替え制御情報の指定のキーワードの項の、領域の範囲、文字フォント及び文字サイズの定義を参照して、取り出した差し替え文字列を、その可変データ領域に収めた画面の作成する差し替え処理を試みる。

【0039】処理ステップ19で識別して、差し替え処理に成功した（即ち文字列が領域に収まった）場合には、処理ステップ20で、前記例で図3(b)の画面の差し替え部分を更新して(c)のように表示する。

【0040】図3(c)は、「#資格=技師」、「#名前=富士太郎」及び「#name=FUJITAROU」の各差し替え指示入力があり、処理された結果を示す。なお、前記のような差し替え画面の各種表示態様に依じて、この場合の表示態様も本例と異なることができる。

【0041】処理ステップ18の処理で指定の可変データ領域に指定の差し替え文字列を配置できなかった場合には、処理ステップ19でその結果を識別すると、処理ステップ21で差し替え不成功を示すエラーメッセージを表示した後、処理ステップ15に戻り、次の入力を受け取る。

【0042】処理ステップ16の判定で、入力がキーワードに始まる差し替え指示でなかった場合には、処理ステップ22で入力が所定の印刷指示か識別し、印刷指示であれば処理ステップ23で、その時点で最後の差し替え更新の終わった定型フォーマット画面（例えば図3(c)の画面）に対応する印刷データを準備し、処理ステップ24で印刷部4へ、その印刷データと必要な指示とを送って指定された部数の名刺の印刷を実行する。

【0043】処理ステップ22で、入力が印刷指示でも無いと判定した場合は、処理ステップ25で終了指示か識別し、終了指示なら処理ステップ26で入力部1に終了を通知して終了する。又、入力が終了指示でも無いと判定した場合は、処理ステップ27で入力誤りのエラーメッセージを表示して処理ステップ15に戻る。

【0044】本実施例の以上の説明は名刺印刷を例としたが、葉書の宛名印刷その他の各種定型用紙への印刷についても、その用紙や印刷内容に対応した定型文書を準備することにより、以上の名刺印刷と同様に本発明を適用できる。

【0045】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明によれば、定型用紙への印刷において、変更を要する可変データ領域のみをキーワードで指定して差し替える文字列を入力すれば、その他の可変データ領域にはそれぞれのデフォルト文字列が指定されたものとして、容易に定型文書の一部を変更する編集をして印刷でき、その場合

に各キーワードの表示から各可変データ領域の差し替え結果を予想し易いように定型フォーマットの表示を行うので、定型文書の印刷指示操作を効率良く処理できるといふ著しい工業的効果がある。

【図面の簡単な説明】

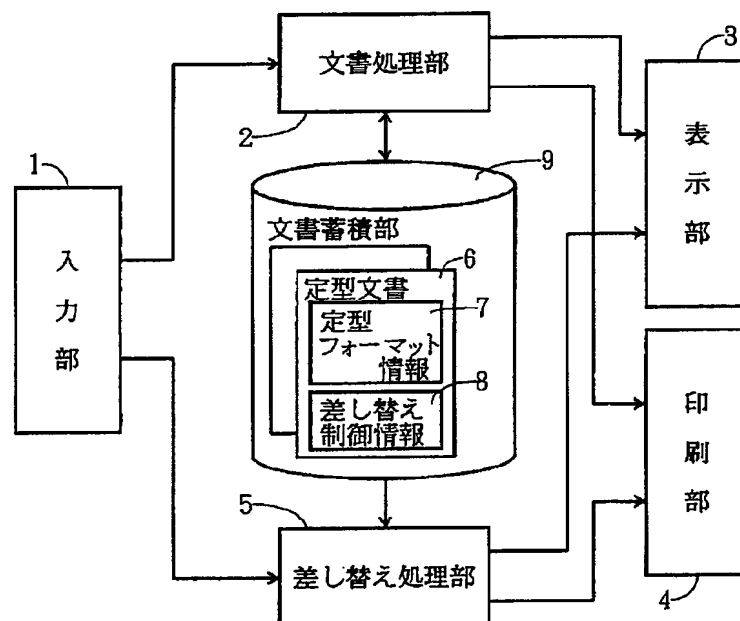
- 【図1】 本発明の構成を示すブロック図
 【図2】 本発明の差し替え制御情報を説明する図
 【図3】 本発明の定型フォーマットを説明する図
 【図4】 本発明の処理の流れ図（その1）
 【図5】 本発明の処理の流れ図（その2）

- 1 入力部
 2 文書処理部
 3 表示部
 4 印刷部
 5 差し替え処理部
 6 定型文書
 7 定型フォーマット情報
 8 差し替え制御情報
 9 文書蓄積部
 10～27 処理ステップ

【符号の説明】

【図1】

本発明の構成を示すブロック図



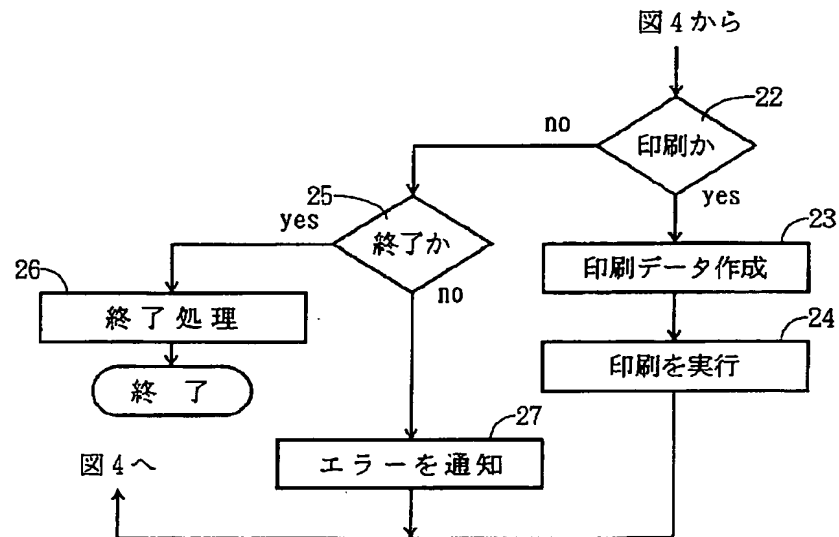
【図2】

本発明の差し替え制御情報を説明する図

キーワード	範囲 左上/右下	文字 フォント	文字 サイズ	デフォルト文字列
#職制1	/	明朝	5	ソフトウェア事業本部
#職制2	/	明朝	5	第二プログラム事業部
#職制3	/	明朝	5	第三開発部
#資格	/	明朝	5	[未定義]
#名前	/	教科書	13	[未定義]
#name	/	標準	5	[未定義]
#tel	/	明朝	5	(040) 999-3939
#fax	/	明朝	5	(040) 999-4349

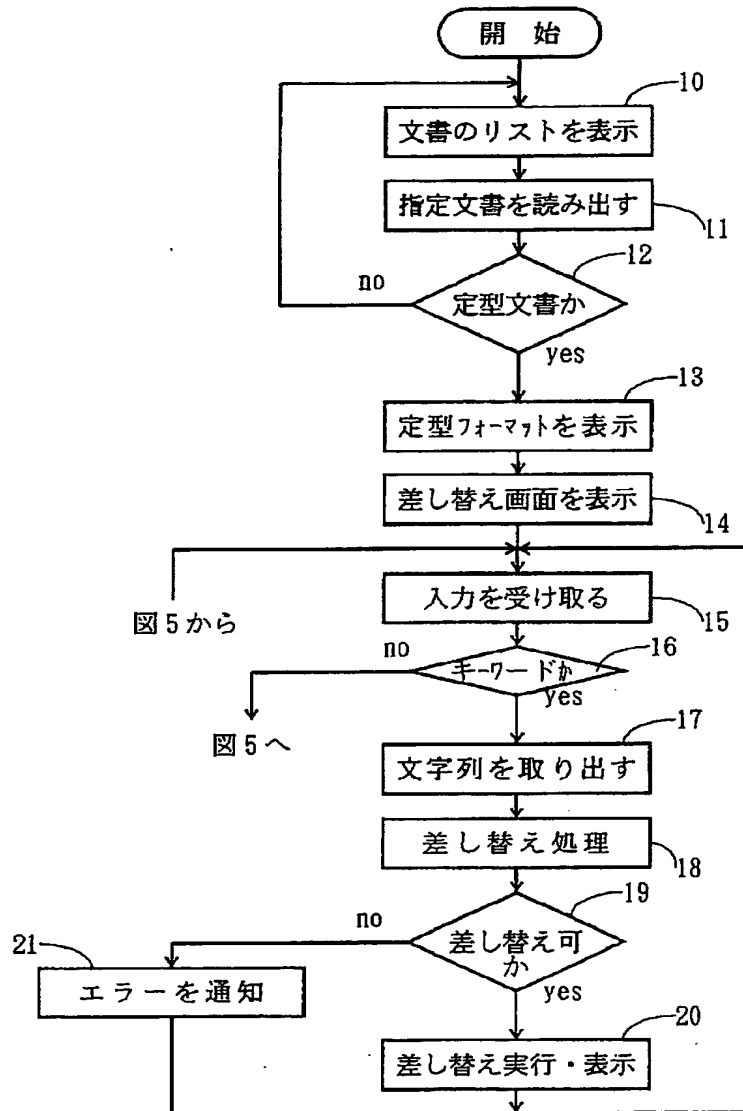
【図5】

本発明の処理の流れ図（その2）



【図4】

本発明の処理の流れ図（その1）



フロントページの続き

(72)発明者 藤原 眞雄
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

